

労務 ROAD

■新入社員の定着を成功させるポイント Vol.1

新入社員の早期離職を防ぐには、適切なフォローが欠かせません。
特に、①入社初日、②最初の休日前、③入社1カ月後、④入社3カ月後
このタイミングでの関わりが定着率向上のカギとなります。
そこで労務 ROAD では、この「新入社員の定着を成功させるポイント」を全2回
に分けて特集いたします。
初回は**入社初日～入社1カ月後**です。新入社員の入社が多いこの時期に、是非お役
立てください。

① 入社初日（受け入れの意思表示を）

入社初日は、どんな人でも期待と不安でいっぱいです。この日に感じる職場の雰囲気が
「この会社でやっていけるか」の判断に大きく影響します。

◆フォローのポイント

✔挨拶をサポートする

新入社員は緊張していて、自分から積極的に話しかけにくいものです。先輩社員が「○○
さん、こちらは△△課の□□さんです」と紹介し、自然に会話が始められるようサポ
ートしてあげてください。

✔会社独自のルールを明確に伝える

例えば、「始業時間の○分前には出社しているものか」「お昼のお弁当はどこで食べれば
いいのかわかるか」「ゴミの出し方はどうなっているか」などの暗黙のルールを最初に説明する
ことで、新入社員の不安を軽減できます。

▶このような「会社の独自ルール」をあらかじめマニュアル化し、初日にオリエンテー
ションを行うこともおすすめです。

② 最初の休日前にフォロー（不安の拡大を防ぐ）

初めての休日を迎える前に、新入社員が職場に対して抱えている小さな不安を解消して
おくことが重要です。休みの間にネガティブな気持ちが増幅し、「この会社、大丈夫か
な？」という疑念が生まれると、最悪の場合、休み明けに出社しなくなることもあります。

◆フォローのポイント

✔短い面談を実施する（10分程度）

上司やメンターが「初めての職場でお疲れさまです。前職との違いで負担になっている
ことはありませんか？」「どんなことで困っていますか？」と、オープンに話せる場を作り
ましょう。

✔仕事の進め方について確認

「何かわからないことがあったときは、誰に聞けばいいかわかりますか？」と質問し、
サポート体制を明確にしておくことで安心感につながります。

▶「新しい職場（環境）で疲れましたよね」という共感メッセージをだした上で、不安
なコトを聞いてあげることがおすすめです

③ 入社1カ月後のフォロー（定着の分岐点）

1カ月が経つと、職場の雰囲気に慣れてきて、だんだんと身の回りの困りごとが少なく
なり、職場のルールや文化にもなじみだし少し余裕が出てくるものです。このタイミン
グで初心を振り返り、今後の成長イメージを共有することが大切です。

◆フォローのポイント

✔採用時の初心を振り返る

「面接のとき、○○さんは△△の仕事に挑戦したいと言っていましたね。実際にやって
みてどうですか？」と声をかけることで、入社時の前向きな気持ちを思い出せます。

✔目標設定を具体化する

▶例：「3年後には○○の業務ができるようになりたい、という話をしていましたね。
では1年後にはどうなっていたいのですか？そのために、まず3カ月後にはどんなこと
にチャレンジしましょうか？」

▶このように初心と目標を改めて思い出させることが、長く組織に定着するきっかけと
なりますので、しっかりと新人に向き合うことが重要です。

つづきは次号にて**4. 入社3カ月後のフォロー（定着の決め手）**を特集いたします。

VOL.949
(2503-5)



〒541-0054
大阪市中央区南本町
2-6-12
サンマリオンタワー16F
TEL:06-6224-0264
FAX:06-6224-0265
HP: <https://k-s-j.net/>
編集：井村・杉島・茅原・石田

社長が入れる
労災保険のことなら

「葛城経営研究会」

詳しくは、
06-6224-0480 まで！

～中小事業の労働保険事務は
「労働保険事務組合」への加入
が便利です！～

●「労働保険事務組合」に加入
するメリット

✔事業主様や家族従事者の
方も労災保険に特別加入する
ことができ、安心して仕事が
できます。

✔労働保険料の分割払いで
負担軽減（年3回の分割納付）

✔事務の効率化：労働保険の
申告・納付等の労働保険事務
は、労働保険事務組合が事業
主様に代わって処理します。

3月労務スケジュール

- ・3月末退職者の手続き
- ・4月入社準備
- ・3月・4月の従業員家族の
異動確認（就職など）